

## 令和6年度 第8回理事会議事録

公益社団法人日本ホッケー協会

1. 日 時 令和6年10月27日（日） 11：00 開始
2. 場 所 JSOS 第三会議室及び Zoom による Web 会議の併用
3. 出席者 理事 18 名中 12 名、監事 2 名

(理事) 三須 和泰、北野 妙子、多氣 洋平、永井 祐司、  
安西 浩哉、箸本 明雄、柿田 亜矢子、埴岡 隆、高瀬 美保、  
小野 真由美、福島 雄裕、西田 美和子  
(監事) 花野 信子（オンライン）、清水 美音子（オンライン）

理事会開催前に、強化育成本部 F T E M 推進室の寺本室長、馬場リーダーから「日本版 F T E M を活用した競技者育成パスウェイモデル構築」について配付されている資料に基づき説明があった。説明者より「日本版 F T E M を活用したホッケー版の競技者育成パスウェイモデル構築を進め、全国規模での一貫指導体制を具現化する」という方針について、理事会決議をお願いしたいという要請があったが、本理事会の招集目的とはなっていないことから、本理事会での決議は見送り、書面による理事全員の同意を取得することで、別途理事会を開催することなく提案事項につき理事会の決議があったものとみなすことができる「決議の省略」手続き（定款第 40 条）を行うことが確認された。

#### 4. 開会宣言

定刻、坂本事務局長が開会を宣言した。

#### 5. 定足数の発表

(1) 坂本事務局長が、理事 18 名中 12 名が出席しているので本理事会は定款第 39 条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。また理事以外として、坂本事務局長、吉満事務局次長の出席の案内があった。

(2) Zoom での出席者の音声即時に伝わり、一同に会するのと同様に適時・的確な意見表明が互いに出来る状態となっていることが確認された。その後、議題の審議に入った。

## 6. 審議事項

- ① 第一号議案 事業に関する謝金等の支払（内規）の改定について  
福島財務総括部長から配付されている資料に基づき説明があった。  
審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。
- ② 第二号議案 スポーツ団体ガバナンスコード遵守状況の自己説明について  
本理事会欠席の奥田竜子理事に代わり、坂本事務局長から配付されている資料に基づき説明があった。  
審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。
- ③ 第三号議案 第2回ホッケータウン認定公募結果について  
柿田ホッケータウン推進部長から第2回ホッケータウン認定公募の結果、「愛媛県松前町」「鹿児島県薩摩川内市」「北海道江別市」「長野県駒ヶ根市」の4市町について認定する旨を配付されている資料に基づき説明があった。  
審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。
- ④ 第四号議案 女子ホッケー日本代表チームヘッドコーチの公募について  
永井強化育成本部長から、「公募に至る経緯」、「公募方式」、「公募及び新ヘッドコーチ決定までのスケジュール」について、配付されている資料に基づき説明があった。  
審議後、議長から本議案について承認を求めたところ、異議無く承認された。

## 7. 報告事項

- ① R6年度予算進捗状況と見直し方針について  
福島財務総括部長から、配付された資料に基づき報告があった。

② 強化育成本部関連

永井強化育成本部長から、「U21 男子第 12 回スルタン・ジョホールカップ」「さくらジャパンアジアチャンピオンズトロフィーへの選手団派遣」について、配付された資料に基づき報告があった。

③ 内閣府認定 公益目的事業内容の見直しについて

坂本事務局長から、配付された資料に基づき報告があった。

8. 議論

「一般社団法人スポーツを止めるな」との連携について

小野アスリート委員長から、動画を使用した説明が行われた。

以上をもって議事の審議を終了し、議長は 14 時 10 分、閉会を宣言した。